



こもれびの森 ウッドランドクラブ通信 7月号

宮城県こもれびの森森林科学館 2013年7月25日(発行責任者 島貫房雄)

栗原市花山字草木沢角間10-7 Tel/Fax0228-56-2330

<http://mifi.main.jp/komorebi.htm>

●先月15日、新企画の草木染め「フキで染めてみよう」をテーマに愛好者9名が集まりました。染め方は「先染め手法」でフキ(露)を使って染めてみました。まず、大ナベにフキの葉を煮出すことから始まります。煮汁に布を漬け込み、何回か洗って出来上がりです。味わいのある色に染まりましたね。後にはピザ焼きを楽しみ、「雑草染めの会?」を立ち上げようなどの提案も出て、楽しい大人の休日でした。(小林記)

●登米市の北上保育園の皆さん28名が森林科学館へ来てくれました。当日はあいにくの雨でしたが、森の中で絵本の読み聞かせやミニクリスマスツリーのクラフトを作って楽しんで行きました。

●7月21日夏休み二日目、花山本沢地区子ども会36名と築館・上照越子ども会31名の皆さんが来館してくれました。流しソーメン、BBQ、ピザ焼きなどお父さんやお母さんが役割分担を決め協力していました。子どもたちは川遊び、カブトムシやクワガタを捕まえた子もいて大興奮。さっそくクラフトコーナーでは夏休み作品に挑戦、その作品の出来栄にビックリ。

当日は二カ所の子ども会がバッチングしましたが、お互いメニューを交換したりして交流を深め、とても友好的な感じがしました。

当館の専属カメラマンO氏(築館在住)が、すぐそばの県道でアナグマの撮影に成功しました。お尻を振りながらトコトコ歩いていたそうです。ずんぐりの体形は見るからにユーモラスな感じがしますが、穴掘りが大得意。ミミズや昆虫の幼虫を探し当て、前足で掘り出します。タヌキによく似ていますが、アナグマはイタチ科でタヌキはイヌ科です。(参考:身近な野生生物観察ガイド 東京書籍)



味わいのある染め風です



北上保育園、絵本読み聞かせ



花山地区子ども会の皆さん



上照越子ども会の皆さん



アナグマのお散歩



森の中で目立つホタルブクロ



モリアオガエルの産卵



「ホタルブクロ」は、広鐘形の花の中にホタルを入れて遊んだかもしれない、と想像して付いた名前だそうです。いい名前が付いていますね。日本人は草花に名前を付けるのが得意です。

今年も池の傍のヤマハノキの葉に、モリアオガエルが産卵しました。その下にイモリが様子を見に来ています。落ちてくるオタマジャクシを狙っているのです。それにしても、どうして卵があるのが分かるのでしょうか。とても不思議です。(ヤマハノキは産卵用にと、平成23年5月に会員特別植樹隊の皆さんが植えてくれたものです。今年も無事産卵しましたよ)

しま所長のコラム

7~8月は夏休みの真っ最中で子ども会、団体の行事やイベントが目白押し。職員はミーティングが終わると、すぐ草刈りや園内、小川の整備などの作業にとりかかってくれます。流しソーメン用の流し台も取付け、石窯用の薪も切り出し、クラフトの材料も用意し受入れの準備は万端です。

チョットお勉強、食物連鎖・・・カエルがミミズを飲み込んでいます。そのカエルが今度はヘビに飲み込まれています。カエルは逃れようとバタバタしています。もっと近づいて撮ろうとすると、尾をピンピン振って威嚇してきました。「じええ、お食事中ごめんなさい!」(写真協力=ヤマアカガエル、シマヘビ)



・・・これからの「こもれびの森ウッドランドクラブ」のご案内!

●8月18日(日) 夏休み第二弾!川遊び&ディキャンプ、夏休み宿題木工工作。流しソーメンやピザ焼きもやります。 ●8月31日(土) 藍染めに挑戦!染料料や助剤を使っての本格的なものです。

※18日は定員親子で50人程度、参加費500円。31日は定員15名、参加費800円。いずれも10時~14時頃、場所は森林科学館とその周辺です。(サポート、会員の方のご参加お待ちしております)

★お申込みお問い合わせは、当館までお電話かFAXでお願いいたします。